

平成26年度 第5回 倫理審査委員会審議

申請者	泌尿器科部長	谷口 啓輔
受付番号	14-34	
課題名	転移性前立腺癌に対する GnRH アンタゴニスト単剤療法と GnRH アゴニスト CAB 療法のランダム化比較試験 (KYUCOG-1401)	
研究の概要	転移性前立腺癌に対する GnRH アンタゴニスト単剤療法と、GnRH アゴニスト CAB 療法の臨床効果を比較検討する。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	看護学校教員	袋 文子
受付番号	14-36	
課題名	複数患者受け持ち実習による学びの効果—就職後の追跡調査の考察—	
研究の概要	医療技術の進歩に伴い、看護業務は複雑・多様化し、看護教育と臨床現場の乖離が指摘されており、複数患者受け持ちに対する行動計画の立案といった判断力の養成が必要とされている。本校でも2008年より統合実習を取り入れ、複数患者受け持ちの実習を実施しているが、就職後にその学びがどのように活かされているのかを明らかにできていない。そこで、複数患者受け持ち実習での学びが就職後にどのように活かされているのかを質問紙を用いて調査する。調査結果に記述された内容を分析して学びの効果を明らかにし、基礎教育における実習内容の見直しに活用することで教育の質的向上をはかる。また、基礎教育と臨床現場の乖離を軽減するための示唆を得る。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	副院長	岡 忠之
受付番号	14-37	
課題名	脳死下からの臓器提供マニュアルの一部改訂	
研究の概要	現行の臓器提供マニュアルでは、脳死の状態と考えられる患者からの臓器提供が妥当であるかどうか、倫理委員会での承認が必要であった。しかし、当院は臓器提供施設として既に倫理委員会での承認を受けており、更に個々の症例について承認か否かの検討は必要ないと、臓器移植ネットワークコーディネーターから指摘を受けた。また、脳死判定医を倫理委員会での承認を受けて追加したためマニュアルの一部を改訂する。	
判定	承認	申請のとおり承認とする。